

「実り」の季節

校長 石村直義

稲穂が黄金色に向かい、畔には赤い曼殊沙華。日中には汗ばむこともまだ多いですが、朝夕の少しひんやりとした空気にも秋到来を感じます。二学期からはじまったオプション制服のポロシャツも見慣れてきました。評判は良いようです。8月末の活水祭、9月の体育大会と大きな学校行事が無事開催できました。それぞれに向けたクラブや学級での取り組みの良い発表の場となり、笑顔が輝いていました。保護者等ご家族の来場・観覧、またご協力に感謝申し上げます。

二学期中間考査があり、これからの時期、学習に、さまざまな活動にと、それぞれの力をさらに伸ばしていく大切な季節です。「実りの秋」という言葉もあります。しかし、実りを得るには、種を蒔き、夏の暑さの中でも水をやり、日々手をかける。その積み重ねがあって、初めて秋の収穫を迎えることができます。学校生活もこれと同じでしょう。学習では、授業に集中して参加すること、家庭でも机に向かうこと、分からないことをそのままにせず、もう一度じっくり考えてみる。一見地道な繰り返しが確かな力につながります。すぐに結果が見えなくても、昨日より今日、今日より明日と積み重ねた努力は決して無駄にはなりません。クラブ等の活動もまた同様です。試合や大会に向かう毎日の練習があります。思うような結果が出ない日もあるでしょう。仲間と意見がぶつかることもあるかもしれませんが、しかし、そうした経験も含めて、一つの目標に向かって自分を磨き、仲間と努力する時間は、貴重な学びの場であり、その実りが試合・大会・発表会での成果としてあらわされます。学習と活動はどちらか一方を選ぶものでもなく、限られた時間をどう使うかを考え、自分で優先順位を考え、集中して取り組む。その経験そのものが、将来への生きる力になります。

秋は、落ち着いて自分自身と向き合うことのできる季節でもあります。芸術文化に触れて心を成長させる、読書や講演会などで新しい分野への興味関心を湧かせてみる。月末には生徒修養会もあります。

一人ひとりが自分なりの目標をもち、日々の小さな努力、感性の充実を大切にしてください。それぞれにとっての豊かな「実り」につながることを期待しています。

入試説明会10/24(土)

☆中学生	☆保護者様
1.入試受験体験	1.校長あいさつ
〈国英数で合計30分〉	2.校納金説明
2.入試対策講座	3.進路指導説明
☆全員	☆時間
1.学校紹介	・受付
2.教育活動紹介	8:50～9:20
3.募集要項説明	・会終了予定
※個別相談会(希望者)	12:10頃

お申込みは
こちらより→



6金	4水	3火	11月行事予定	31土	29木	28水	27火	24土	23金	21水	19月	14水	13火	12月	10土	9金	7水	6火	5月	10月行事予定
第2回漢字検定(中学全員受験)	第2回スプリングコンテスト	文化の日	高Ⅲ模試(1日まで)	生徒修養会	高Ⅱグローバル模試	生徒修養会準備祈祷会	生徒修養会	入試説明会(午前)	入試説明会準備(40分授業)	中高生徒総会⑦	高Ⅰ看護学部体験病院見学(希望者)	高Ⅱ修学旅行説明会	高Ⅰ活水女子大説明会⑦	高Ⅱ④⑦探究フィールドワーク	スポーツの日	高Ⅲ模試	中高生徒会役員改選立候補×切	高Ⅱ活水女子大説明会⑥⑦	高Ⅲ小論模試	高校中間考査・中学特別行事



第127回体育大会

中学 ダンス

中学生は、今年度2学年でのダンスとなり、協力して作品を仕上げました。3年生の創作ダンスはダンス委員を中心に創作し、楽しい作品となりました。全体の創作ダンス、マツルカ、カルメンは縦割り班でのダンスや先輩達から続いている隊形移動などを取り入れ中学生らしいダンスを披露しました。来年度は、中学生最後のダンスとなるので、いい形で締めくくりたいと思っています。(向井杏奈)



高Ⅰ 創作民舞

高校Ⅰ年生は、活水高校での初めての体育大会で「民舞」を披露しました。活水音頭と創作民舞の2曲を踊りました。色とりどりの浴衣を着て、生き活きと元気に演技している生徒たちはとても素敵でした。全体の創作のリーダーとなってくれたⅠC松本さん、ⅠD大石さんが、短い練習日程の中、美しい隊形移動を考え、全体の指導を行ってくれました。入場時に和太鼓を鳴らしてくれたのはⅠD村上さんです。このような行事の中で、生徒たちの新しい才能を発見できるのはとても嬉しいことです。また、保護者や着付けのためにわざわざ時間を作ってくださったボランティアスタッフの方々には感謝してもしきれません。たくさんの人に支えられていることを実感できる体育大会でもありました。(増田康子)



高Ⅱ ダンス

高校Ⅱ年生は、6月頃から作品に取り組んできました。全体作品のSnowManのオドロウゼ!と嵐のFiveの2曲を2ヶ月かけて皆で沢山練習を重ねてきました。各クラスのダンスは、ダンス委員を中心に創作し、個性豊かな素敵なダンスが仕上がりました。本番は、Ⅱ年生らしい元気な雰囲気楽しく披露することができました。(向井杏奈)



高Ⅲ 仮装競技

毎年、仮装競技では各クラスそれぞれの個性がうまく表現されています。体操服や制服ではなく、演技内容に合った衣装や小物をみんなで考えます。生徒たちが楽しそうに練習している様子を見ると、こちらも笑顔になります。クラスみんなで団結して取り組んだ「仮装競技」は、この先もずっと忘れられない思い出となることでしょう。(増田康子)

[生徒の感想]

私は引っ込み思案な性格で、ダンスを教えるのはとても大変だったし、苦しい時もありました。ですが「優勝」という結果を聞いてとても嬉しかったしみんなと一緒に頑張ったよかったと努力が報われた気がしました。この経験で苦手なことを1つ乗り越えられ、自分自身が成長できた気がします。

(ⅢB上村盟紗)

Ⅲ年A組・B組



Ⅲ年C組



Ⅲ年D組



メイポールダンスを終えて

○私の家族は毎年、活水の体育大会を楽しみにしていました。特に祖母はメイポールダンスを心待ちにしていました。本番後に家族から「感動したよ!」と言ってもらい、頑張って練習して良かったと思いました。メイポールダンスは、私たち高校3年生だけではなく、先生方や家族、在校生、卒業生など活水に繋がるたくさんの方が楽しみにしている大切な伝統だと改めて感じました。(ⅢA 濱瑞優)

○メイポールダンスでリボンを編む時、すれ違う瞬間に友達の顔が見えました。その時ここまでみんなと一緒に頑張ってきたんだと思い泣きそうになりました。一人では完成させることのできないものをみんなで息を合わせて完成させることができたからこそ、あの瞬間に特別な感動があったのだと思います。活水に入学してよかった!と改めて思いました。(ⅢB 亀川光莉)

○1、2年生の時には長いなと感じていたメイポールダンスでしたが、緊張した中、あっという間に終わりました。1本1本のリボンに込められた気持ちの重さと責任を感じました。演技が終了し、曲が止まった時の静寂から100年以上受け継がれてきたこの演技の意味が伝わってきました。この演技を成功させるという思いが一つになって、全員が同じ方向を向いてとても心地よかったし活水ならではの経験だと思いました。本当に活水に来てよかったです。(ⅢC 崎村悠里)

○今年、私がメイポールダンスに参加して、祖母、母、姉、そして自分の4回目になりました。母は久しぶりにメイポールダンスを観ることができて感動して泣きそうになったと言ってくれました。3年生として、最後にメイポールダンスを踊ることができてよかったです。(ⅢD 尾道凜音)

1879年、エリザベス・ラッセル女史が日本に来られた時代、アメリカから日本への渡航方法は大型蒸気船(客船)のみで、約3週間の船上生活を経て長崎の地へ到着されました。現在はアメリカまで9時間~14時間で移動が可能です。今の生活からは想像し難い困難を乗り越えてでも叶えたい希望と使命感を持たれていたのでしょう。107年間、粛々と続けられてきたこの演技は、ラッセル先生の崇高な意志を受け継ぐために存在しているのだと思います。(増田康子)



第2回オープンスクール

9月5日(土)第2回オープンスクールを行いました。オープニングは活水のオープンスクールの代名詞でもあるウェルカムコンサート。今回も最高の演奏でした♪第1回オープンスクールとは違い、第2回は体験型ということで、在校生交流会や授業体験会を行いました。全体会では、卒業生が来場者に活水での生活や進路について話しをしてくれました。10月以降のイベントは枠外に掲載しております。実際に入試問題に触れたり、個別相談の機会があったりとより本格的な内容となってきます。中学3年生のみなさまにとっては、進路を決める大事な時期になってくることと思います。今後も活水では様々なイベントを企画しておりますので、ぜひ奮ってご参加ください!(草野深音)

大会成績等

<卓球部>

長崎地区高等学校新人卓球大会 女子シングルス 準優勝 柳原 優理

<中高吹奏楽部>

長崎県マーチングコンテスト 金賞 県代表

(九州マーチングコンテスト出場 10/11 福岡国際センター)

(岩永崇史)

イブニング説明会

こちらより→



実施は以下の日の水曜日、
各日、18:30から実施いたします。

9/30 10/7 10/14 10/21
10/28 11/4 11/11 11/18

入試対策講座 12/19(土)9:00~11:50

受付	8:30~	8:55
① 国語	9:00~	9:50
② 英語	10:00~	10:50
③ 数学	11:00~	11:50



お申し込みは
QRコードから!
HPからも可能です。

マーチングコンテスト 県大会金賞! 九州大会へ!

9月12日(土)、島原復興アリーナで行われました第39回長崎県マーチングコンテストにおいて金賞、そして県代表として九州大会へ推薦されました。今年は1年生も多く不安もありましたがマーチング未経験に関わらず大変頑張りました。九州大会にむけてさらに精度をあげて全国大会出場を目指し頑張ります。応援よろしくお願いします。(杉町たまみ)



活水祭

8月28日(金)、29日(土)に活水祭が行われました。今年度は「NO KWASSUI NO LIFE ~あなたの心にKWASSUIを」をテーマとし、夏休み前から各団体が協力して、企画や発表の準備をしてきました。

28日は、校内でチャペル発表を中心とした有意義な時間を持つことができました。そして、29日の一般公開では、暑い中、多くの方にお越しいただきました。各団体の生徒の皆さん、生徒会役員、実行委員の頑張りと、教員の協力、そしてPTAの方々のご協力により、素晴らしい活水祭を創り上げることができました。たくさんのご協力ありがとうございました。(安元和愛)



NIE推進校としての取り組み

NIE実践指定校として長崎県下の高校枠の中の2校に指定を受けました。その取り組み一つとして壁新聞を実施しています。壁新聞の実施は高校三年生の廊下に毎日生徒が登校前に張り出し、自由に読むことができる環境づくりをしています。特に高校三年生は面接や小論文で一般常識を問われる話になれば、この壁新聞の知識が役立ちます。新聞はSNSの情報とは違い責任を持って情報を管理しています。その情報は身に付けると自分の知識となり教養として役立ててすることができます。まずは活字に慣れるために毎日読んでみてください。楽しい話、為になる話があふれています。(波多野慎二)



将来学 「今、考える後輩に伝えたい一言」

9月18日(金)将来学に、第79回の卒業生西岡秀子衆議院議員に活水高校の高3の生徒に伝えたい言葉のためにチャペルにお越し頂きました。現在、ご活躍の国政の話を交えて、女性議員の活躍が未だに国際基準に達していない現状を見せていただきました。特に国会議事堂内の女子トイレ増設や会議中の議論をしている姿など、西岡さんの白いジャケットが黒い議員の中で際立って目立っていました。最後に「恐れずに一歩を踏み出す勇気を活水で培いました」と後輩たちに強いメッセージを送ってくださいました。(波多野慎二)



今月の聖句

『あなたがたが子であることは、神が、「アッパ、父よ」と叫ぶ御子の霊を、わたしたちの心に送ってくださった事実から分かります。』
(ガラテヤの信徒への手紙 4章6節)

キリスト教において、お祈りとは「神様との対話」です。ですから私たちは、いつでもどこでも家族や友達に話しかけるように語りかけて良いのです。お祈りは、最初に「呼びかけ」から始まります。「天にいらっしゃる父なる神様」、イエス様は、「アッパ、父よ」と呼びかけられました。「アッパ」とは、アラム語で「お父さん」という意味です。しかも幼い子が父親を呼ぶときに使う言葉です。現代で言うならば、「パパ」「お父ちゃん」という意味になります。

私たちは、イエス様を通して神様に祈ることがゆるされています。またさらにイエス様と同じように神様のことを「アッパ」と呼ぶこともゆるされました。神様はみなさんとの対話を待っています。どんなことでも良いのです。「アッパ」と呼びかけてみましょう。(常泉晶子)